

返還50周年 開校50周年

校長 新妻 茂

この20年来、5月3日になると、私は「日本国憲法」全文を自分への戒めとして読むことにしています。なぜかという、第99条に憲法尊重擁護義務として、「天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負う」とあるからです。それとともに「前文」を読むと世界の「恒久平和」に対する並々ならぬ日本国民総意としての決意と意志が伝わってきます。戦中、戦後、そしてサンフランシスコ平和条約締結後から返還まで、さらに返還後と、これまでの小笠原諸島が歩んできた幾多の困難を思うと、憲法「前文」の決意と意志をあらためて確認する必要があります。本校の教職員には、返還50周年に小笠原中学校の教職員でいることの意義をふまえて、返還前後の歴史等について学んで欲しいとお願いしてあります。(現在の教職員は返還された昭和43年以降に生まれた人がほとんどです。)

私は小笠原に赴任してからこの時期になると毎年読む本があります。それは「小笠原村 初代村長と校長の記録」という本です。初代村長の染谷恒夫氏と初代校長の有馬敏行氏が書かれた本で、昭和54年3月19日に有馬先生から第2代・4代の校長をされた藤木資洋先生に謹呈されたものです。持ち出し禁止・永久保存として校長室に保存されています。

その本にある開校前後の記述の中からひろってみました。

有馬先生たちに先んじて5名の先生方が先発隊として父島に来ていました。有馬先生たちは昭和43年6月23日朝6時ごろ、LST「おおすみ」が横須賀を出発してから60時間を経て父島に着きました。有馬先生が子供たちを見た最初の印象は、「世界の子どもを集団を思わせる小笠原の児童・生徒」と表現されています。

6月26日には小笠原小中学校の開校式・入学式が行われますが、有馬先生ご自身は、開校式のことばは英語でやろうか日本語でやろうか横須賀出発前から迷っておられたようです。しかし、父島に着いてから子供や保護者の何人かと話をした経験から、日本語でやろうと開校式直前に決心しました。そして次のようなことばを述べられました。

「(前略) さて、皆さん、今までこの学校はなんとよばれていましたか(列のうしろのほうから、早口で英語を口にする者あり。Radford School と聞こえた)。そうですね。Admiral Radford School でしたね。ところが、きょうから、小笠原小中学校となったのです。皆さんは、日本の小笠原小中学校の子どもとなったのです。どうかこれからはしっかり勉強して、りっぱな日本の子ども、東京の子どもになってください。父兄の皆さんも、ご心配のことと思いますが、私たちは今まで子どもたちが勉強してきたことをじゅうぶん尊重して、急激な変化をさけて、だんだん日本の教育に移るようにしたいと思います。教室でも、やさしい日本語をはっきり、ゆっくり話し、英語も交えて、子どもたちによくわかるように授業を進めていきたいと思えます(後略)」

有馬先生たちは、ことばの壁を乗り越えるために努力を続けていくこととなります。先人の幾多の苦勞があって、今の小笠原小学校、小笠原中学校があります。

6月の主な行事予定

- | | |
|------------------------------------|-------------------------|
| 1日(金) 食育講話 AED講習会 | 16日(土) 定期考査事前の学習教室開放 |
| 2日(土) 青灯台・大村海岸護岸ノロ落とし清掃 | 18日(月) 学校朝礼 |
| 4日(月) 生徒会朝礼 | 20日(水) 定期考査 理科 英語 音楽 |
| 5日(火) 母島移動教室(1年)始 | 21日(木) 定期考査 国語 技術・家庭 美術 |
| 7日(木) 母島移動教室(1年)終
小笠原高等学校訪問(3年) | 22日(金) 定期考査 社会 数学 保健体育 |
| 11日(月) 避難訓練 | 25日(月) 学校朝礼 |
| 12日(火) お弁当の日 | 26日(火) 開校記念日 |
| 14日(木) 第1回進路説明会 | 30日(土) 返還50周年記念式典パレード参加 |
- ※26日はお休み、30日は授業日となります。

バドミントン部 島しょ大会

バドミントン部

5月3日(木)に島しょ大会が内地の港区でありました。初めての島しょ大会ということもあり生徒達も緊張した様子でしたが、立派に試合をして結果を残すことができました。男子シングルス2名、男子ダブルス1組、女子シングルス2名、女子ダブルス1組、女子団体で、都大会の出場権を得ました。

同級生と試合をする経験がほとんどなく、いつも以上に闘争心のあふれた生徒の姿を見ることができました。会場には昨年度離任された先生や、内地の学校へ進学したOBも応援に駆けつけてくれました。今大会で経験した勝つ喜びや、負ける悔しさを糧にして、夏の都大会で活躍してくれることを期待しています。

こどもまつり

生徒会担当

5月3日(木)にお祭り広場にてこどもまつりが開催されました。小笠原中学校も例年通り「ねんどであそぼう」「こいのぼりとかぶとをつくろう」「プロサッカー選手になろう」「箱の中身はなんだろう?」のブースを設けました。前日には、看板作りや道具の準備など一生懸命に準備をしてくれました。当日は天候にも恵まれ、中学生もこども達も笑顔で楽しむ姿がたくさん見られました。準備から片付けまで主体的に取り組む中学生がとても嬉しい一日でした。



学校寄席 落語家 三遊亭美るくさん来校

国語科

5月21日(月)3校時、体育館で学校寄席が行われました。今年も、落語家の三遊亭美るくさんが落語を披露してくださりました。

落語の中には、私たちの身近にいそうな人が登場する噺も多くあります。今回は、「知ったかぶり」をして最終的に困ってしまうという人が登場する、「ちりとてちん」という噺でした。食べ物を食べたり、飲んだりする仕草は、まるで本物のようでした。

また、後半には「字遊び」を行い、美るくさんと生徒たちが、たくさん触れ合うことができました。日本の伝統文化を体験することのできた貴重な時間となりました。



「一体感！！」と「Be The ONE」

3学年担任

スローガン『Be The ONE』のもと、18人の3年生は、9泊10日の修学旅行に行ってきました。クラスが、実行委員が、行動班が、それぞれ「ひとつ」になることで、大きなトラブルもなく、参加した全員が「楽しかった」と感じられる修学旅行になりました。

今回の修学旅行では、ルールの検討、食事のメニュー、レク、班行動のルート決め、部屋割り、座席決め、しおり作りなど、様々な場面で実行委員が先頭に立って準備を進めました。そこには「自分たちの力で少しでも良い修学旅行にするんだ」という気持ちがありました。クラスの他の生徒も、実行委員の頑張りに対してしっかりと協力し、とても良い準備が進められました。

修学旅行中は、毎日毎日、生徒たちのたくさんの笑顔に出会えました。1, 2年生の「ENJOY GO」の嬉しさ、竹芝に降りた時の期待感、みんなでする食事の楽しさ、宿舎での高揚感、見学地での感動、班行動のワクワク、鹿との触れ合い、ディズニーランドでの開放感…。

また、印象的だったのは、事前学習の知識や想像を元に見学していることです。学習の基本でもありますが、本当によく学んでいました。神社仏閣はもちろん、京都のグルメ、ディズニーランドに至るまで、事前の準備を協力して進めていました。

この修学旅行にあたり、多くの方のご支援、ご協力がありました。学習発表会等を通して、生徒たちからも改めてご報告させていただきます。

～生徒作文の紹介～（一部抜粋）

○ 5月17日から始まった、9泊10日の修学旅行。私にとってこの修学旅行は、大切な思い出となった。まず、準備。私は実行委員になり、毎週、放課後に残って皆で話し合いをしていた。ずっと部活に遅れるのが嫌だったけど、今になっては、あのときしっかり計画を立てておいて良かったな、と思う（本当に）。授業では、実行委員で話し合ったことをもとに、京都と奈良のコース決めや、マイクロソフト、上級学校訪問のことを決めた。本当に準備って大切だなと、初めて思った。

伏見稲荷の千本鳥居がすごいキレイで、日本にこんなキレイなところあるんだ、と思った。

○ 三日目、みんなの口から「もう三日目か」といった声が聞こえた。確かに今までただ移動してきただけだったので、時間が経つのが早いな、と思った。四日目はバス移動だった。バスガイドの話も楽しかったが、一番心に残ったのは平等院だ。まさに和風テーマパークのようで、アトラクションこそないが、世界観ができあがっていた。

総合学習 夜明山戦跡調査 「戦争は・・・」

2年担当

2年生は、9月に硫黄島訪島事業に参加します。総合的な学習の時間では、それにむけて平和学習が始まりました。5月17日（木）に、板長さんを講師に迎え、実際に夜明山に残されていた戦時中の食器や、薬莢（やっきょう）、銃剣などの遺留品を手に取りながら、小笠原の戦争の歴史について学習を行いました。

そして、18日（金）は板長さんの案内で、夜明山戦跡調査に出かけ、実際に手で掘った洞窟を通り、発電所跡、高射砲跡などを見学しました。小笠原に生活している中に、こんなにも戦跡があることに驚きました。そして、最後には自分たちが目で見て感じたことを、川柳にしながら戦争について改めて考えました。いくつもの言葉が頭に浮かぶ度に、生徒たちは「戦争は…」と考えたことでしょう。板長さんの思いも含め、これからの平和学習へつなげてほしいと思います。

お知らせ

母島移動教室

1年生は6月5日から7日まで母島移動教室を実施します。主な行程を紹介します。

5日（火）出発式 静沢戦跡・鮫ヶ崎等班行動 農家見学 御幸之浜見学
6日（水）石門入山班行動
7日（木）カカオ農園、探照灯基地跡、北村小跡等見学、北港での清掃活動
母島中学校1年生との交流 解散式

小笠原諸島返還 50 周年祝賀パレード及び小笠原諸島返還 50 周年記念式典

6月30日（土）に小笠原諸島返還50周年祝賀パレードが実施されます。本校生徒もパレード、式典へ参加いたします。記念式典には村から配布される50周年ポロシャツを着用の上、中学校席で参加します。

○ 登校時刻 10：10

○ 下校時刻 18：30頃

○ その他

- （1） 3、4、5校時の授業を行った後にパレード、記念式典へ参加します。記念式典終了後、解散となります。
- （2） 通常通り12時15分から昼食となります。
- （3） 小港方面のバスは式典終了時刻を考慮し役場前を出発となります。